

「平成30年度『学びのスタンダード』推進事業」の推進地域の取組

パイロット校名	南相馬市立石神中学校，南相馬市立石神第二小学校
推進協力校	南相馬市立石神第一小学校

主体的・対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業」と「自己マネジメント力に基づく家庭学習」による学習サイクルの確立

「学びのスタンダード」推進事業2年目として、石神ブロックでは研究テーマを「『主体的・対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業』と『自己マネジメント力に基づく家庭学習』による学習サイクルの確立」と設定し、1年間取り組んできました。その取組の内容についてご紹介いたします。

1 パイロット校の取組内容

(1) 推進地域における「授業スタンダード」の活用について

① 普段の授業づくりへの活用

- ・教材との出会わせ方を工夫し、興味・関心を高める課題設定（導入）
- ・ねらい（目的）を明確にした活動内容・形態の工夫（展開）
- ・考えを深め、理解や気付きを高める「まとめ・振り返り」の工夫（終末）

② 指導案作成への活用

- ・各段階の重点指導事項
- ・主体的・対話的な活動，学び合いの時間の確保
- ・まとめ，振り返りから家庭学習へのつながりを持たせるための手立てなどが盛り込まれているか，の指標とした。

③ 研究授業後の事後研究への活用

- ・当該授業の成果と課題
- ・今後の研究の方向性（推進地域協議会などでの協議）などについて，着眼点として話し合うための材料とした。

(2) 英語科における「タテ持ち」の取組について

石神中学校では、英語科でのタテ持ちを実施し、指導方法の共有化を図り、協働して授業づくりを行うとともに、3年間を見通した系統的な指導ができるよう配慮した。具体的には、以下のような指導体制をとった。

	1組	2組	3組
1年	A先生	B先生	B先生
2年	A先生	B先生	B先生
3年	A先生	A先生	B先生

全教科でのタテ持ちは難しいため、各教科の教科部会の活性化に取り組んだ。授業内容について悩みを相談し合ったり、指導法について語り合ったりできるよう、部会の運営に関して、共通理解を図り、生徒の信頼感や安心感が増す授業づくりに努めた。

(3) 理科における教科担任制の取組について

石神二小では、理科・書写の授業(3～6年生)で教科担任制を実施し、教員の専門性を生かして指導ができるように努めている。

具体的には、以下のような指導体制をとった。

	3・4年生		5・6年生
理 科	A先生	理 科	B先生
書 写	B先生	書 写	C先生

2 推進協力校の取組内容

(1) 校内研修の実施

- ① 1人1授業の校内授業研究を計画的に実施し、互見授業によって研修を深めた。
- ② 「学び合い」「まとめ・振り返り」に焦点を当て、児童の発達段階に応じた学びのあり方について全職員で共通理解を持って研究に取り組んだ。

(2) 推進地域授業研究会の実施

7月5日、推進協力校（石神第一小学校）において、2年・6年の算数の授業を公開した。グループによるワークショップ型の事後研究では、小・中学校の教員が校種を越えて活発な話し合いが行われた。



3 成果と次年度へ向けて

(1) 成果

- ① 推進地域協議会を年6回実施し、単に連絡調整のための協議会ではなく、「学び」に関する話し合いを行い、指導主事の先生方からご指導をいただくなど、有意義な協議会とすることができた。
- ② 授業公開の前には、事前研究会（指導案検討会）を行い、指導主事の先生方との話し合いを通し、指導案の修正・改善につなげることができた。
- ③ 「授業スタンダード」をもとに、石神ブロックの取組を焦点化した「石神授業スタイル」を作成し、小・中学校で共通理解のもとで取り組むことができた。
- ④ 家庭学習の習慣化を目指し、指導案の中に「まとめ・振り返りと家庭学習との関連」の項目を加えるなど工夫することができた。
- ⑤ 授業の中に、対話的な活動を意識的に取り入れ、児童生徒同士の学び合いを推進することができた。
- ⑥ 「家庭学習スタンダード」をもとに、石神ブロック「家庭学習の手引き」を作成し、小・中学校で共通認識のもと取り組むことができた。

(2) 次年度へ向けての課題

- ① 学習アンケートなどから児童生徒の実態と変容の把握をしていく必要がある。
- ② 学習内容を精選するなど、児童生徒が学びを深めるために必要な手立てについて研修をしていく必要がある。
- ③ 小・中学校間でのまとめ・振り返りの定義を確かなものとし、授業と家庭学習とのつながりを強めるなど、学習サイクルの確立を目指して今後も取り組んでいく必要がある。
- ④ 校内授業研究や互見授業での「授業スタンダード」のチェックシートの使用を継続し、取組が一過性のものにならないようにしていく必要がある。